

I D	
受付日	

※ 「ID」欄に修習資金IDを記載すること。
※ 「受付日」欄は、最高裁判所において記載するので、何も記載しないこと。

繰上返還申請書

令和 年 月 日

最高裁判所 御中

私は、最高裁判所から修習資金の貸与を受けていた者ですが、繰上返還をしたいので、下記のとおり申請します。

記

1 申請者

氏名	フリガナ 氏	名
現住所	フリガナ (〒 -)	
	都道府県	

2 繰上返還の方法(①から③までのいずれかを選択する。)

<input type="checkbox"/> ① 返還すべき修習資金の残額を一括して返還する。 繰上返還額 _____ 円
<input type="checkbox"/> ② 複数年分の年賦金を一時に納付する。 繰上返還年数 _____ 年分 繰上返還期間 令和 年 ~ 令和 年分 繰上返還額 _____ 円 納付告知書の送付時期((a)又は(b)のいずれかを選択する。) <input type="checkbox"/> (a) 納入告知書を直ちに送付していただきたい。 <input type="checkbox"/> (b) 納入告知書を年賦金の納入告知書の送付時期(7月上旬)に送付していただきたい。
<input type="checkbox"/> ③ 納付期限の到来していない年賦金のうち、1年分の年賦金を納付する。

3 各年賦金の納付期限の順次繰上げ(2の②又は③の場合のみ選択する。)

<input type="checkbox"/> ① 各年賦金の納付期限の順次繰上げを行う。(最終の年賦金の納付年度 令和 年度)
<input type="checkbox"/> ② 各年賦金の納付期限の順次繰上げを行わない。

(注意)

- この申請書は、繰上返還に係る年賦金についての修習資金貸与要綱(平成24年11月3日施行)第17条に規定する納入告知書の発送の予定期日の2週間以上前の日までに提出しなければならない。
- 繰上返還は、納入告知書に記載されている期限までに行わなければならない。期限を徒過した場合は、納入告知書に記載したところにより年14.5パーセントの割合で計算した延滞利息を併せて納付しなければならない。

【記載例】

訂正する場合は、二重線で該当箇所を抹消してください。

~~市川~~

修習資金IDを記載してください。

ID	
受付日	

※ 「ID」欄に修習資金IDを記載すること。

※ 「受付日」欄は、最高裁判所において記載するので、何も記載しないこと。

繰上返還申請書

令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

最高裁判所 御中

私は、最高裁判所から修習していた者ですが、繰上返還をしたいので、下記のとおり申請します。

戸籍姓を記載してください(旧姓・通称は不可)。フリガナは、必ず記載してください。

1 申請者

氏名	フリガナ	シホウ	イチロウ
	氏名	司法	一郎

現住所	フリガナ	サイタマケン ワコウシ ミナミ
	(〒 351 - 0104)	埼玉県 和光市 南 2-3-8-201

現住所は正確に記載してください。また、郵便番号、フリガナも必ず記載してください。

2 繰上返還の方法(①から③までのいずれかを選択する。)

① 返還すべき修習資金の残額を一括して返還する。

繰上返還額 _____ 円

② 複数年分の年賦金を一時に納付する。

繰上返還年数 2 年分

繰上返還期間 令和 5 年 ~ 令和 6 年分

繰上返還額 59万8千円

納付告知書の送付時期((a)又は(b)のいずれかを選択する。)

(a) 納入告知書を直ちに送付していただきたい。

(b) 納入告知書を年賦金の納入告知書の送付時期(7月上旬)に送付していただきたい。

③ 納付期限の到来していない年賦金のうち、1年分の年賦金を納付する。

①、②、③のいずれかを必ず選択してください。

②を選択した場合、必ずいずれかを選択してください。

3 各年賦金の納付期限の順次繰上げ(2の②又は③の場合のみ選択する。)

① 各年賦金の納付期限の順次繰上げを行う。(最終の年賦金の納付年度 令和 _____ 年度)

② 各年賦金の納付期限の順次繰上げを行わない。

(注意)

2で②又は③を選択した場合

- この申請にのみいずれかを選択してください。提出日までに提出しなければならない。
- 繰上返還は、納入告知書に記載されている期限までに行わなければならない。期限を徒過した場合は、納入告知書に記載したところにより年14.5パーセントの割合で計算した延滞利息を併せて納付しなければならない。